

大会宣言

私たちは、第92回定期大会を開催し、憲法改悪に反対し、「管理と競争の教育」や「貧困と格差の拡大」を許さず、子どもと教育を守り、ゆとりと希望にみちた笑顔あふれる学校づくりをすすめる運動方針を決定しました。

「初めて学級担任になりました。大変なこともあります。それ以上にこんなに楽しいんだなあと感じています」。目の前の子どもたちに懸命に向き合う青年教職員の言葉です。一人ひとりの力は小さくても、仲間が集まれば大きな力になります。情熱をもって働く教職員が一人で悩むことなく、いきいきと働き続けることができる学校を私たちは求めています。

コロナ禍は学校に大きな変化をもたらし、子どもたちの心身の成長に大きな影響を与えました。ICT活用をはじめとする政府がすすめる様々な「改革」が持ち込まれ、新たな業務負担が増えています。背景にあるものは、国や企業が求める人材育成の教育観です。私たちは、子どもたちの成長・発達のねがいに寄り添い、憲法・子どもの権利条約の理念にもとづき、学ぶ喜びと希望を育む教育をすすめます。

学校現場は深刻な教職員不足の危機に直面しています。過労死ラインを超える長時間労働の常態化によって、教職員の心身は傷つき、「学校で働きたい」という若者が減っています。正規教職員を増やすことで、一人あたりの業務量を減らし、超過勤務縮減をすすめることが必要です。私たちは、教育予算の大幅増や教育諸条件の改善を求めるとともに、教職員の生活と健康を守り、ゆとりある職場づくりをすすめます。

戦後77年間、日本国憲法のもとで、一度も攻撃することもなかつた日本が大きく変えられようとしています。私たちがつくる社会は、子どもたちが生きる未来です。私たちは、政府のすすめる大軍拡に反対し、様々な立場の違いを超えて、憲法を守りいかすとりくみや、核兵器のない世界の実現をめざすとりくみをすすめます。

今年度は4年ぶりに参集開催が実現しました。互いの顔を見て、発言を聞き合い、拍手を送り、「集まって話すこと」が組合の原点であることを再確認する大会となりました。「教職子を再び戦場に送るな」のスローガンを改めて高く掲げ、平和な未来をとみに築いていきたいと思います。県教組は、日教組に結集し、統一と団結を強め、決定された運動方針に基づき、明るく民主的な職場づくりを基礎に、組織を拡大・強化し、保護者や多くの県民・働く仲間と手を携え、組織の総力を挙げて奮闘することを宣言します。

2023年5月27日

長野県教職員組合 第92回定期大会